

RV34xシリーズルータのバージョン1.0.01.18へのファームウェアアップグレード後にWebインターフェイスが応答しない

要約

RV34xシリーズルータのWebインターフェイスは、ファームウェアを1.0.0.33から1.0.01.18にアップグレードした後に応答しない場合があります。このドキュメントでは、この問題を強調表示し、ルータを最新のファームウェアにアップグレードする手順を定義しています。

該当バージョン

1.0.01.18

指定日

May 30, 2018

解決日

N/A

影響を受ける製品

RV34xシリーズ

Bug ID

CSCvk05937

問題の説明

出荷時のRV34xシリーズルータは、ファームウェアバージョン1.0.0.33を搭載して工場にロードされます。現在、プラットフォームのファームウェアの最新バージョンは1.0.01.18です。RV34xシリーズルータのファームウェアをバージョン1.0.0.33から1.0.01.18にアップグレードすると、ルータのWebインターフェイスが応答をしないこの問題の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

注：テストでは、ファームウェアをバージョン1.0.0.33からバージョン1.0.01.18に直接アップグレードするときに、この問題が切り分けられたと判断しています。バージョン1.0.01.16または1.0.01.17からバージョン1.0.01.18へのファームウェアのアップグレード中は発生しない可能性があります。

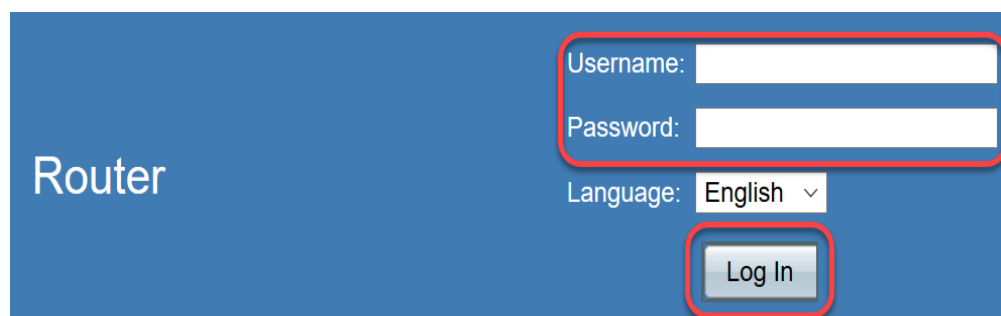
原因

現在、バージョン1.0.01.18に含まれる新機能がこの問題を引き起こしていると考えられています。この機能により、ルータで定義されている仮想ローカルエリアネットワーク (VLAN)ごとのデバイス管理を有効または無効にできます。

回避策

1.0.0.33からのファームウェアアップグレードを正常に行うには、次の手順を実行します。

ステップ 1：表示されたフィールドにユーザ名とパスワードを入力して、ルータのWebページのユーティリティにログインし、[ログイン]をクリックします。

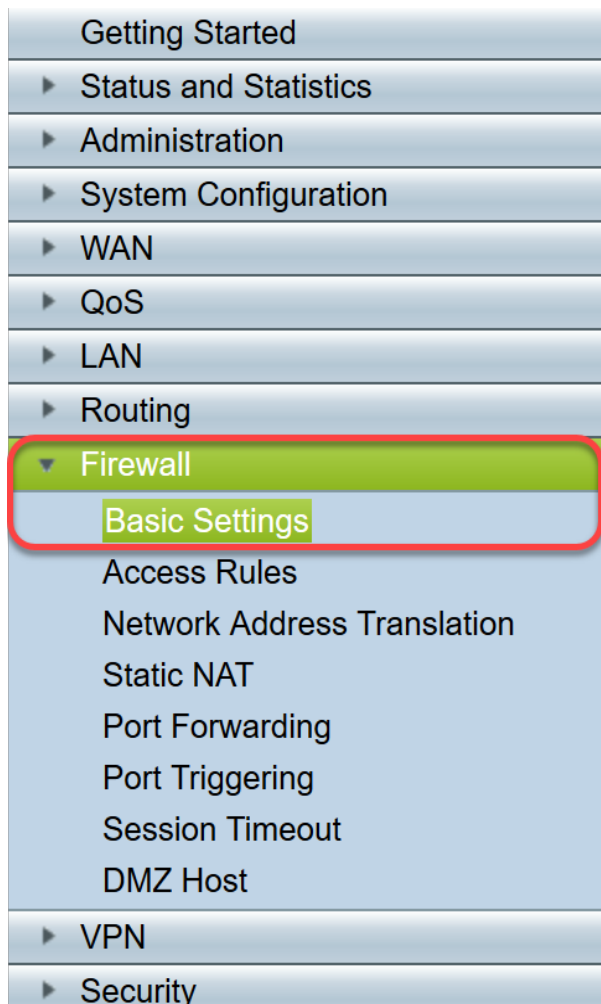


The screenshot shows the login interface for a router. It features a blue header with the word "Router" on the left. On the right side, there are three input fields: "Username:", "Password:", and "Language: English". Below these fields is a "Log In" button. Red boxes highlight the Username and Password fields, and the Log In button.

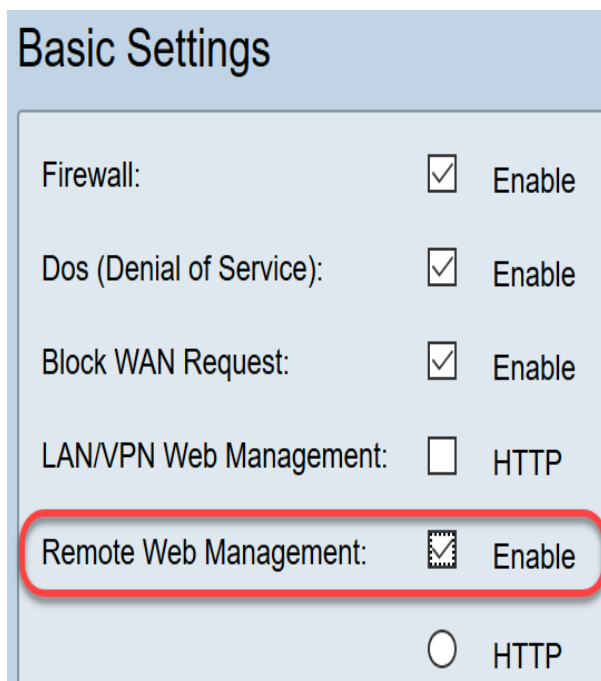
ステップ 2：ルータへのリモートWebアクセスを有効にします。

注：ローカルエリアネットワーク(LAN)からルータへのアクセスがファームウェアアップグレードの後に失敗した場合は、VLAN1の「Device Management」が無効で、バージョン 1.0.0.33から1.0.01.18へのファームウェアアップグレードが成功した後は編集できません。

これを行うには、[Firewall] > [Basic Settings]を選択します

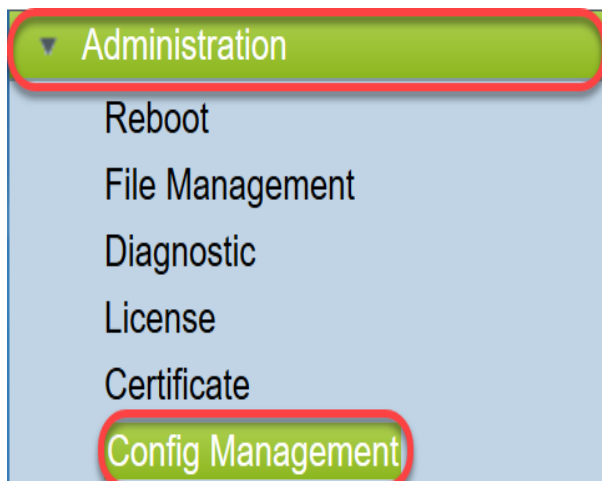


リモートWeb管理を有効にするには、このチェックボックスをオンにします

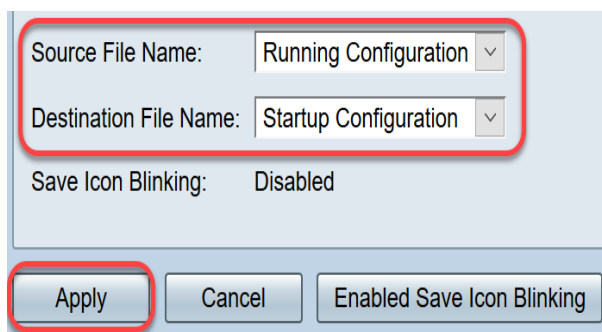


ステップ3 : ファームウェアをアップグレードする前に、何らかの操作を行う前に設定をバックアップしておくことをお勧めします。

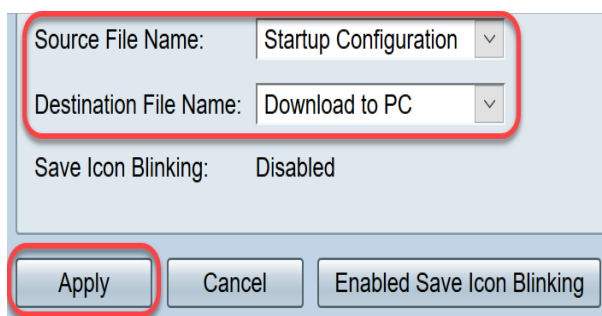
[Administration] > [Config management]を選択します



[Config Management]テーブルで、[Source File Name]に[Running Configuration]を、[Destination File Name]に[Startup Configuration]を選択して、実行コンフィギュレーションファイルをスタートアップコンフィギュレーションに保存します。[Apply] をクリックします。



スタートアップコンフィギュレーションをパーソナルコンピュータ(PC)にコピーします。そのためには、スタートアップコンフィギュレーションとして[ソースファイル名(Source File Name)]、PCにダウンロードするダウンロード先ファイル名を選択します。



注：実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションが同じであると仮定して、実行コンフィギュレーションまたはスタートアップコンフィギュレーションをPCにダウンロードできます。

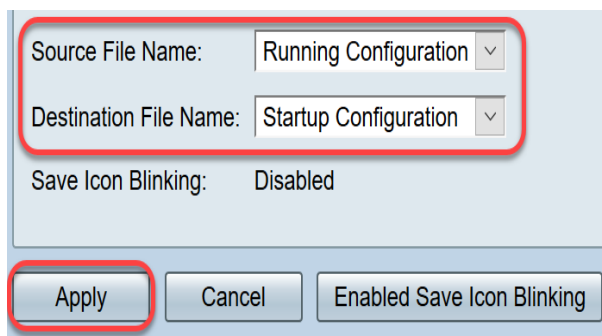
この例では、スタートアップコンフィギュレーションはPCに保存されます。

ステップ4：ルータのファームウェアをバージョン1.0.01.17にアップグレードします。

注：RV34Xシリーズルータのファームウェアのアップグレードに関する詳細については、[ここをクリックします](#)。

ステップ5：ステップ1のように、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)からルータにアクセスします。

ステップ6：実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションに保存して、ファームウェアバージョン1.0.01.17でコンフィギュレーションを保存し、「適用」をクリックします。



Source File Name: Running Configuration ▾
Destination File Name: Startup Configuration ▾
Save Icon Blinking: Disabled

Apply Cancel Enabled Save Icon Blinking

ステップ7：ルータのファームウェアをバージョン1.0.01.18にアップグレードします。

ステップ8:LANからルータにアクセスします。

これで、ルータのファームウェアがバージョン1.0.0.33からバージョン1.0.01.18にアップグレードされ、正常にアクセスできているはずです。

このField Noticeは、この問題を認識し、問題を解決するための最良のソリューションを提供するためのものです。詳細については、シスコテクニカルサポートにお問い合わせください。